

立冬が過ぎても穏やかな日が続き、まだいいかと思っていましたが、朝夕ぐっと冷え込み、急いで衣替えの今日この頃です。現在会員登録数2,835人さま。次号は12月20日発行の予定です／

＋-----◇◆◇ 目次 ◇◆◇ -----＋

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》この本読んだ？

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

《3》読書活動ボランティアのためのワンポイント 99

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

＋-----＋

■-----■
【1】お知らせ

● 連続講座「幼い子どもの文学を考える」

文学の面白さを、最初に覚える「幼年文学」。5歳から8歳を中心とした読者を、大人は、長い間、つかみきれていませんでした。

英米で幼年文学が成立していく歴史を辿った後、作家・翻訳者・図書館員として活躍された渡辺茂男、松岡享子両氏の作品を通して、日本での受容と幼年文学の魅力を考えていきます。

講 師：三宅興子（当財団特別顧問、梅花女子大学名誉教授）

日 時：12月22日（土）、平成31年1月26日（土）、2月23日（土）

各回 午後2時～4時

場 所：大阪府立中央図書館 2階大会議室 （東大阪市荒本北）

内 容：

第1回「幼年文学の歴史－英米の歴史を中心に－」

第2回「幼年文学をよむ① 渡辺茂男作品を中心に」

第3回「幼年文学をよむ② 松岡享子作品を中心に」

定 員：各回 50名（申込先着順）

参加費：各回 1,000円

主 催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

助 成：子どもゆめ基金助成活動

お申し込み、詳細は ↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/02_lecture/index.html

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

■ ----- ■
【 2 】 コ ラ ム
■ ----- ■

《 1 》 この本読んだ？ Yasuko's & Takeo's Talk

『ぎりぎりの本屋さん』まはら三桃、菅野雪虫、濱野京子、工藤純子、廣嶋玲子/著 講談社 2018年10月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：5人の作家による小学5年生を主人公にした「ぎりぎり書店」にまつわる連作集。菜子へのいじめに加担した罪悪感から本屋に入る菜菜子（「ひとつ多い“な”」）、お葬式で親戚に話しかけられる対処法の本を買った荒太（「ベストアンサー」）、ドジな菜子が隣の席の悠司に厄除けの本を薦められる「ラッキーな菜子」、本の世界に入り込む葉月と美央（「思い出のかみかくし」）、妹の誕生日に本を買うために、逃げた本を捕まえるアルバイトをする健介のこと（「魔本、妖本にご用心！」）で構成されている。

Y：「本を読むってどういうこと？」というテーマをデビュー12周年の5人の作家がユーモラスに描いた本が出ました。

T：同著者による2016年『ぐるぐるの図書室』に続く作品で、「ぎりぎり書店」という空間を全ての作家が使っていると同時に、登場人物も関わり合っているところが統一感を生み出していて、制作過程を知りたくなります。

Y：最も関わりが深いのが、「ひとつ多い“な”」（まはら三桃）と「ラッキーな菜子」（濱野京子）。前者では菜菜子が菜子のいじめに加担してしまってもやもやし、後者では、その菜子がいじめられていることに無自覚な様子と、それを心配する同級生が描かれます。

「ベストアンサー」（菅野雪虫）はちょっと毒があっとうまい！と思った作品でした。

T：親戚のお葬式に行く途中の電車の中で読む本として『人生のベストアンサー』を買った荒太が、無神経な発言を繰り返す親戚に向かって、本を参考にしたために不謹慎な言葉を言ってしまい、ひんしゆくを買います。

いろいろな場面で子どもは大人に虐げられ、心ない言葉を投げかけられます。それに一矢報いた荒太を、読者はしてやったりと思うのではないのでしょうか。本にはそういう子どもたちの気持ちを認め、自らの気持ちを相対化させる機能があることを、この作品は語っているように思います。

事実、荒太が『ベストアンサー』を買う時、店主は「本は『災いを減らす』ことはできる。でも防災にはならない。」（p.59）と本の役割を語っています。

Y：つまり、『ぎりぎりの本屋さん』は、本屋は自分だけの時間を過ごせ、安らぎを得たりエネルギーを回復したりする場所で、読書とは、自分の気持ちを整理すること、災いを減らすこと、同じ本を楽しむことによって友だちと結びつくこと、想像の世界へ入り込むこと、魅力的な登場人物に出会うことができるものであるなど、本屋さんや読書の魅力が多様な方向から描かれている本だと思いました。

* 今回のゲストは当財団の宮川健郎理事長（T）です。

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

第39回「二人の役人」

子どもの語りが寓意するもの

賢治童話にはしばしば、役人およびそれらに関連する役所などが登場します。「ポラーノの広場」(本メルマガ No. 96、97)には、モリーオ市の博物館に勤務する下級役人・レオーノキューストが出てきました。またくある小さな官衙に関する幻想という副題を持つ「猫の事務所」は、猫の役所が舞台となった作品です。

一方、本作「二人の役人」に登場するのは、国家の権力機構に組み込まれているく小役人です。

物語はくその頃の風穂の野はらは、ほんとうに立派でしたという書き出しから語られます。9月末のある日曜日、尋常5年生のく私)が藤原慶次郎を誘って野原に出向くと、入口にはく本日は東北長官一行の出遊につきこれより中には入るべからず)の札。が二人は長官見たさに制札を無視して奥へと入りこみ、蕈(きのこ)をとって遊びます。

そのうちに役人が二人、く私)たちの方に大急ぎでやってきます。殺されるに違いないと青くなりますが、役人たちは長官一行の出遊のため、栗を撒いたり蕈を置いたりするなど、いわば“仕込み”をしていたのでした。

その仕込みが、あまりにわざとらしく子どもだましで滑稽なのです。栗の木ではないところに栗の実を撒いたり、短い萱の穂を地面に植え、そこに集めた蕈を刺したり。役人の手伝いをするうちに、二人はとうとうおかしくなって(役人とともに)笑ってしまいます。国家の大臣(長官)を迎えるという準備にも関わらず、子どもの遊びの延長でしかないような行為。一時的に成立した4人の共犯関係が作品の面白さの一つといえます。

結末、く私)たちはその場から去り、長官には会えずじまいとなります。しかし翌年、町の中学校に入った二人は、その役人たちと時々出会います。二人を覚えていない役人に対し、く私)たちはちゃんとおぼえてあた)とのこと。秋枝美保はく幼いときの役人についての記憶が後の教育ですらぬぐい去ることができなかつた)点を指摘、く二人の小学生が見たのは、役人というものを通してみる国家というもののナンセンス性)であり、役人へのく強烈な皮肉)(「二人の役人」2003年)と述べています。

中央からやってくる役人に支配され続けていた東北。かつて存在した豊かな野原が失われる語りにも、その場しのぎやまやかしの職務を担う役人に対する、子どもの側からの怒りと諦めに似た感情を見るようです。(ペ吉)

(本文の引用は、筑摩書房版『宮沢賢治コレクション』4によりました。)

《3》読書活動ボランティアのためのワンポイント 99

その11 さまざまなご質問にお答えします(17) おはなしについて1

質問：昔話を語る時、書かれている言葉をそのまま覚える必要がありますか。

この質問は簡単には答えられないので、数回に分けてお答えしたいと思います。

本来、語りは耳で聞いて記憶に残ったものを語り継いでいくものです。そのときには、語ってもらった言葉を一言一句そのまま語ったはずはありません。けれど、耳で聞き、覚え、その要点をつかんで語るという昔の人にはできていたことが、文字に頼る生活を送るようになった私たちには困難になっているのも事実です。語り継がれてきた同じ話を何度も耳で聞くという経験も薄れてきています。

このように文字社会に浸りきった私たちが、語りの楽しさ、語り継がれてきた物語のおもしろさを継承するために行っているのが、図書館や学校などの公共の場で行っているおはなしです。多くの場合、おはなしは、書かれている文献から覚えて子どもたちに語ります。

初心者の方は、そのまま覚えて語ったら、耳に心地よくておもしろいテキストを、選ぶことをおすすめします。東京子ども図書館の『おはなしのろうそく』や「子どもに語る」シリーズ（こぐま社）には、覚えたまま語ることのできるお話が多く掲載されています。

けれど、昔話は星の数ほどあり、少し語り慣れてくると、文字で書かれたまま語れなくても、ぜひ、このおはなしを語りたいと思うことがあるのは当然です。そこで、今回はこのことについて考えてみたいと思います。

* 次号は「その 11 さまざまなご質問にお答えします（18）」の予定です。ぜひ、ご質問やご意見をお待ちしております。（Y）

《4》 行って来ました！

奈良県立美術館で12月2日まで開催されている特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展 BIBで出会う絵本のいま」に行ってきました。この原画展は、スロヴァキアの首都ブラティスラヴァで2年ごとに開催される世界最大規模の絵本原画コンクールの出品作品から選ばれています。作品は、過去2年間に出版された絵本を対象に各国が選出しており、各作家の原画は1m×1mのパネル2枚分に収まる範囲で出品されるそうです。

展示は、「BIB2017 受賞作家」、「BIB2017 日本代表作家 絵本づくりとそのひみつ」、「いま気になる絵本の国 中国、イラン、イスラエル、韓国」の3部構成になっていました。原画には作品の解説の他に作家のコメントがつけられていて、どんな思いで描かれたのかなどわかります。原画が使われた絵本も置いてあり、手にとって見ることができます。

その中にはイランの『わたしは一頭のシカでした』（ナルゲス・モハンマディ、金のりんご賞）の黒い夜空を見上げるシカの絵や、イスラエルの『マアマト、サッサカとオヒサマ』（オフラ・アミット、金牌）の赤と青の色鉛筆で描かれた動物たちがとびはねている楽しそうな絵、韓国の『ヒキガエルがいく』（パク ジョンチェ）の何とも言えない表情のカエルの絵があり、強く印象に

残りました。

日本の作品は、原画とともに、ラフ、ダミー本、取材メモ、材料、コンピュータグラフィックスでの作画手順など、15作家それぞれの制作過程がわかるようになっています。水彩で細密に描かれた『たんぽぽ』（荒井真紀、金のりんご賞）、絹の布に墨や顔料で描かれた『でんきのビリビリ』（こしだミカ）、アイヌに伝わる昔話『ひまなこなべ』（どいかや）など、日本で活躍中の絵本作家の作品をまとめて見ることができ、得をした気持ちになりました。（K）

■ ----- ■
【3】全国のイベント紹介

● 講座 子どもと本の集い 2018 「YAのための新しい読書の扉をひらこう！
『13歳からの絵本ガイド YAのための100冊』について」

講師：ひこ・田中（児童文学作家、評論家）

松田素子（編集者、作家、翻訳者）

コーディネーター：西村安曇（西村書店総合企画部）

日時：12月9日（日）午後1時30分～4時10分

場所：吹田市立中央図書館 3階集会室（吹田市出口町）

定員：50人 参加費：無料 申込み：必要

主催：吹田子どもの本連絡会

● 資料展示「ふしぎの描き方ーあまんきみこ&富安陽子の世界ー」

日本を代表する2人の児童文学作家にはふしぎな世界を描くという共通点がありますが、その描き方は少し違います。「ふしぎ」をテーマに作品世界をたどります。

会期：開催中～12月28日（金） 休館日あり

会場：大阪府立中央図書館 1階展示コーナー（東大阪市荒本）

主催：大阪府立中央図書館 国際児童文学館

協力：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

■ ----- ■
【4】プレゼント

今号のコラム《1》「この本読んだ？」で紹介しました『ぎりぎりの本屋さん』を1名の方にプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガ N0.99 プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ (5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。

締切は12月10日（月）、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

— | — | — | — | — | — | — | — | — |

どっぴりと冬になり切ってしまうまでに秋を満喫しようと、休みのたびにどこかに行かねばとあせり気味。新聞やテレビの紅葉の情報にひかれ、いざ行

こうとしても、超満員であったりすでに色あせていたり・・・。来年のために覚えておこうとしても、その時期が過ぎてから気が付く始末。まずは手近に通勤の車窓や近くの街路樹で楽しむことにしよう。(T A)

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。

原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
